



環境保全のリーディングカンパニーを目指す

2015年12月期 決算

2016年12月期 事業計画 説明会

証券コード6328



Water



Air



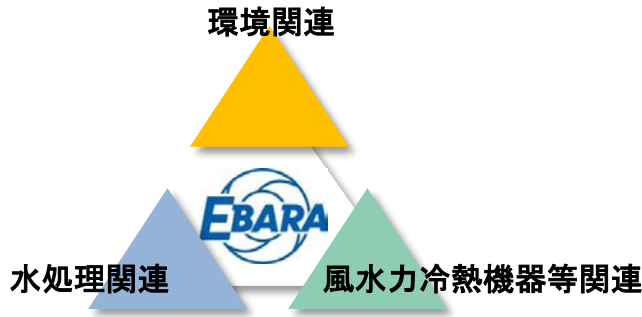
Ground

荏原実業株式会社

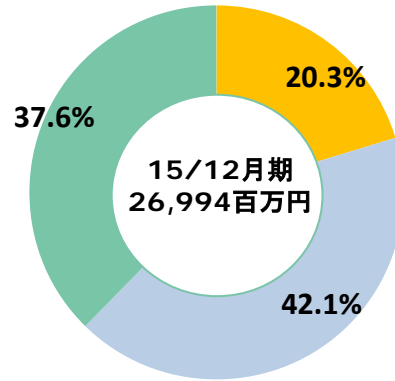
2016年2月9日

(参考)事業概要

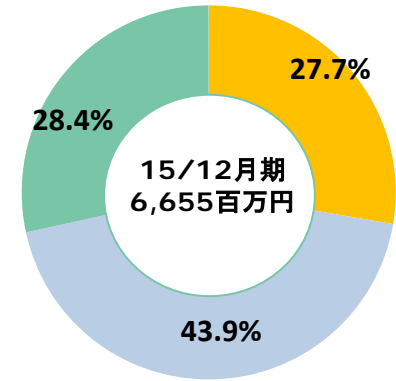
《3つの事業セグメント》



【売上高】
 ■環境関連 ■水処理関連 ■風水力冷熱機器等関連



【粗利益】
 ■環境関連 ■水処理関連 ■風水力冷熱機器等関連



● 環境関連（メーカー事業）

「計測」、「医療」、「省エネ・水資源」、「ボエフ脱臭」「水産」等の分野で、製品の開発から販売までを行う事業

自社製品を扱う最も注力している事業で、利益率が高い。粗利構成比50%を目指す。

● 水処理関連（エンジニアリング事業）

上下水道関連施設の設計・施工からメンテナンスまで、トータルサービスを展開している事業

官需中心に、更新需要が拡大。東北地域や西日本地域に販売エリアを拡大。

● 風水力冷熱機器等関連（商社事業）

ポンプ、送風機、空調冷熱機器等の産業機械を、商業ビルや各種製造工場に販売する事業

民間設備投資や五輪需要の盛り上がりに対応。主力商品のほか新規取扱い商品にも注力。

(参考)環境関連(メーカー事業)一覧表

カテゴリー	事業内容	主要販売先	製品例
計測分野	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 主に水処理で使われる計測器の開発及び販売 ★オゾン濃度計は国内トップシェア 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設 (高度処理浄水場、下水処理場) ◆ 民間工場 (半導体、液晶、食品等) 	 <p>高精度オゾンモニタ</p>  <p>溶存オゾン濃度測定装置</p>
ボエフ脱臭分野	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 脱臭剤「ボエフ」ブランドを中心とした脱臭製品の開発及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設 (下水処理施設、農業集落排水処理施設) ◆ 民間工場 (食品、飲料等) ◆ 商業施設 (厨房除害設備) 	 <p>ボエフ脱臭剤</p>  <p>ボエフ脱臭塔</p>
省エネ・水資源分野	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 省エネブロウ、水処理プラント、水処理周辺機器の開発及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設 (下水処理施設、農業集落排水処理施設) ◆ 民間工場 (食品、飲料、製紙、化学) など 	 <p>省エネブロウ</p>  <p>バイオガス発電用生物脱硫装置</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 水産・養殖業向け水処理エンジニアリング ◆ 感染症対策、救急災害対策、医療関連機器等の開発及び販売 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 官公庁、食品会社 ◆ 医療機関、自治体、中央官庁など 	 <p>高効率ろ過器</p>  <p>海水殺菌装置</p>  <p>災害対策用エアテント</p>  <p>空気殺菌脱臭装置</p>

2015年12月期 決算報告



売上高は減少したものの、粗利益率の向上により営業増益

- ◆ 受注高・・・3.8億円減（前期比1.4%減）
- ◆ 売上高・・・29億円減（前期比9.8%減）
- ◆ 営業利益・・・2.7億円増（前期比23.7%増）

(百万円)	14/12月期		期初計画	15/12月期			
		構成比(%)		構成比(%)	前期比		
					増加率(%)	増減額	
受注高	27,723	—	30,000	27,342	—	▲1.4	▲381
売上高	29,939	100.0	28,000	26,994	100.0	▲9.8	▲2,945
粗利益	6,509	21.7	6,370	6,655	24.7	+2.2	+146
販管費	5,362	17.9	5,140	5,237	19.4	▲2.3	▲125
営業利益	1,146	3.8	1,230	1,417	5.3	+23.7	+271
経常利益	1,201	4.0	1,290	1,511	5.6	+25.8	+310
当期利益	848	2.8	780	970	3.6	+14.4	+122
1株あたり配当金	45円	-	45円	45円	-	-	-

15/12月期 決算のポイント

受注高 前期比 $\Delta 3.8$ 億円($\Delta 1.4\%$)

- ◆ 上下水道施設や排水機場の更新案件を中心に安定的に推移

売上高 前期比 $\Delta 29$ 億円($\Delta 9.8\%$)

- ◆ 期首受注残高が前期比約22億円少なかったことに加え、前期に計上されていた大型の工事案件の反動減も重なり、減収

粗利益 前期比 $+1.4$ 億円($+2.2\%$)

- ◆ 公共案件の発注価格上昇に加え、原価低減や工程管理の徹底が奏功し、利益率が前期比3ポイント上昇

販管費 前期比 $\Delta 1.2$ 億円($\Delta 1.3\%$)

- ◆ 連結子会社売却の影響により減少（実質的には70百万円の増加）
- ◆ 人件費、広告宣伝費等が増加

受注残高 前期比 $+3.4$ 億円($+2.0\%$)の174億円

- ◆ 前期水準を維持

連結子会社売却の影響額

- ◆ 14/12月期に連結子会社を売却した影響は、
受注高 約6億円、売上高 約6億円、粗利益 約2.3億円、
販管費 約1.9億円、営業利益 約43百万円の減少

セグメント別 状況報告

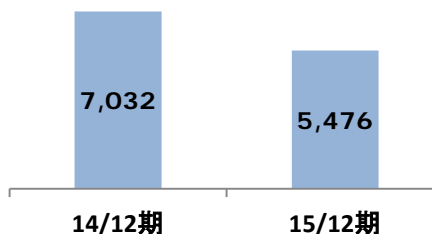


環境関連

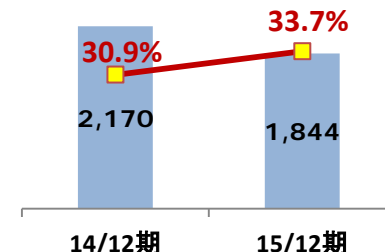
売上高 △15億円 粗利益 △3.2億円

- 売上高及び粗利益は、計測及びボエフ脱臭の分野が堅調に推移したものの、省エネ・水資源の分野で前期に大型の工事案件が計上されており反動減
- 粗利益率は、上記大型案件が低利益率であったことから改善
- 連結子会社売却の影響
(売上高 約6億円、粗利益 約2.3億円)

(百万円) 【売上高】 (環境)



(百万円) 【粗利益】 (環境)

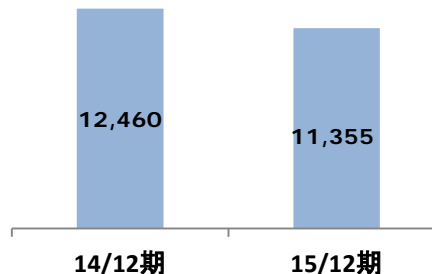


水処理関連

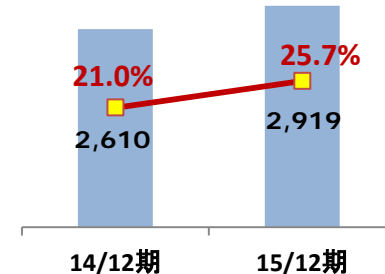
売上高 △11億円 粗利益 +3.0億円

- 売上高は、期首受注残高が少なかったことが影響し、前期比減
- 一方で、粗利益は前期比増。公共案件の発注価格上昇に加え、原価低減や工程管理の徹底が奏功し、粗利益率が向上

【売上高】 (水処理)



【粗利益】 (水処理)

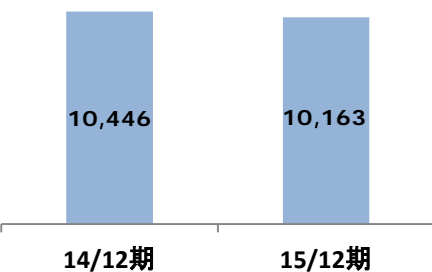


風水力冷熱機器等関連

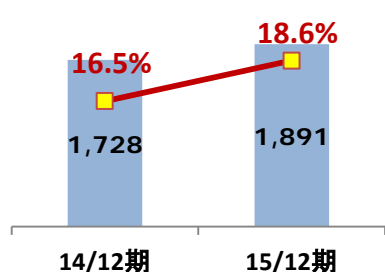
売上高 △2.8億円 粗利益 +1.6億円

- 外部環境として東京都を中心に再開発やリニューアルの案件が高水準で推移
- 納入件数は増加したものの、売上高は若干の減少
- 需要の高まりを受け、粗利益率は向上

【売上高】 (風水力)



【粗利益】 (風水力)

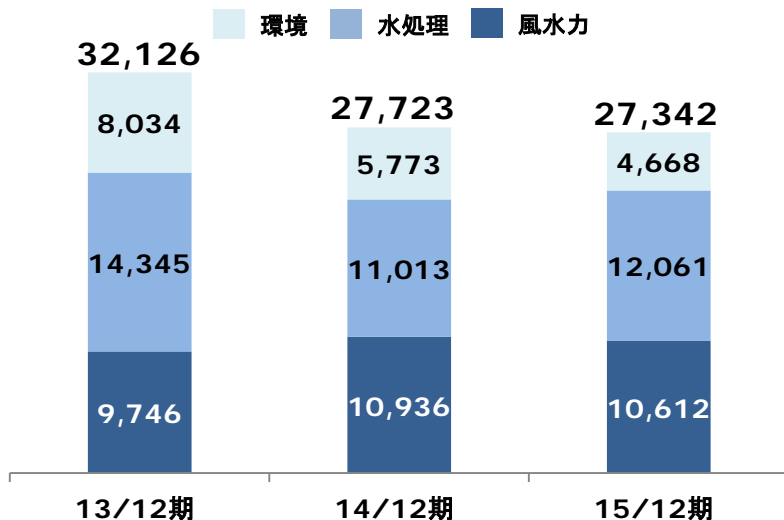


受注高・売上高・受注残高・粗利益の推移

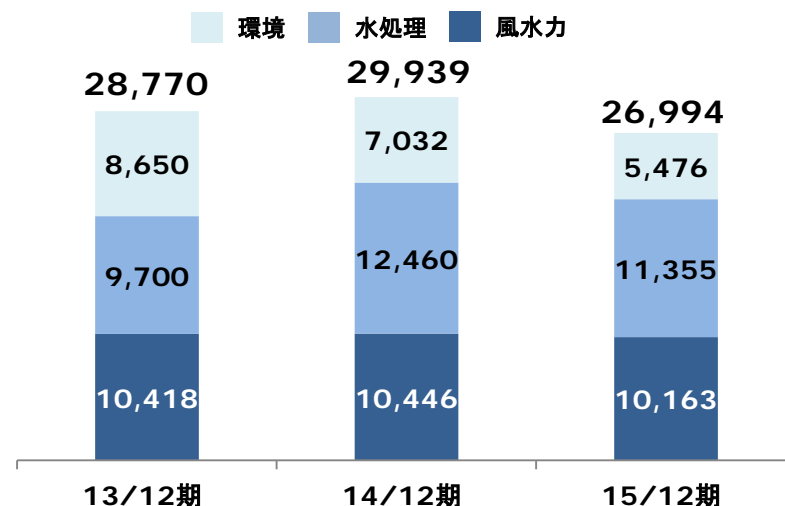


(単位:百万円)

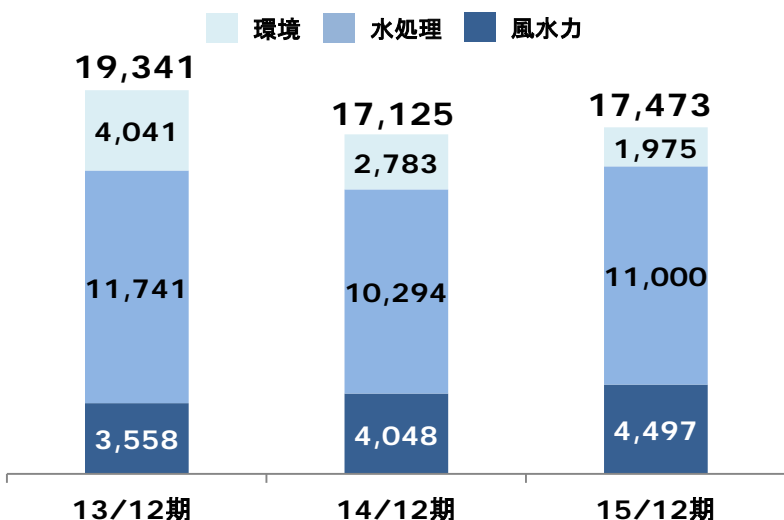
【受注高の推移】



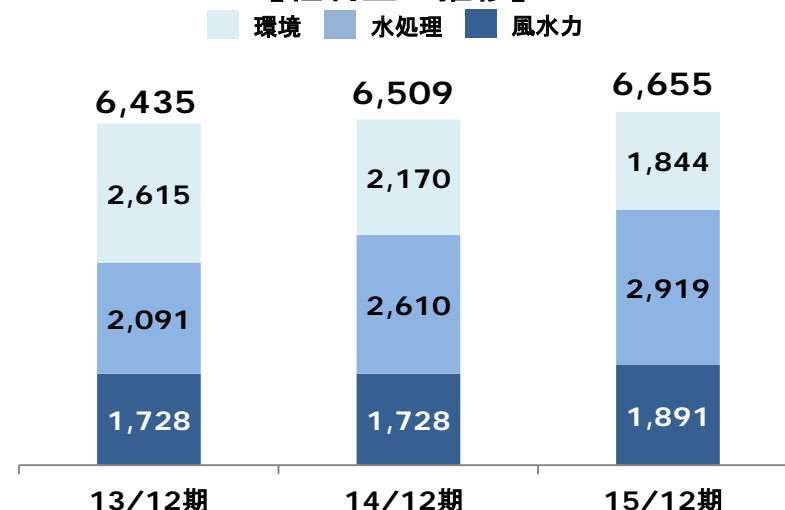
【売上高の推移】



【受注残高の推移】



【粗利益の推移】



- ◆ 売上高は期中の受注により増加
- ◆ 粗利益は引き続き高い粗利益率水準を維持し増加
- ◆ 販管費は研究開発費及び人件費に起因し増加
- ◆ 営業利益は若干の減少

	15/12月期		16/12月期 計画		増加率 (%)	増減額
	(百万円)	構成比(%)		構成比(%)		
受注高	27,342	—	28,500	—	+4.2	+1,157
売上高	26,994	100.0	28,000	100.0	+3.7	+1,005
粗利益	6,655	24.7	6,820	24.4	+2.5	+164
販管費	5,237	19.4	5,460	19.5	+4.2	+222
営業利益	1,417	5.3	1,360	4.9	▲4.1	▲58
経常利益	1,511	5.6	1,450	5.2	▲4.1	▲62
当期純利益	970	3.6	930	3.3	▲4.2	▲41
1株あたり配当金	45円	-	45円	-	-	-

計画の前提条件(セグメント別計画)

環境関連（メーカー事業）計画

- 受注高
 - 省エネプロワ、脱臭関連を中心に回復
- 売上高
 - 期首受注残高の減少を期中受注増により補い増加

(百万円)	15/12月期	16/12月期 計画		増加率 (%)	増減額
			構成比(%)		
受注高	4,668	5,500	—	17.8	831
売上高	5,476	5,500	100.0	0.4	23
粗利益	1,844	1,920	34.9	4.1	75

水処理関連（エンジニアリング事業）計画

- 受注高
 - 復興需要、上下水道設備の更新は安定的に推移
- 売上高
 - 期首受注残高の増加に伴い、売上高も増加

(百万円)	15/12月期	16/12月期 計画		増加率 (%)	増減額
			構成比(%)		
受注高	12,061	12,000	—	▲0.5	▲62
売上高	11,355	12,000	100.0	5.7	644
粗利益	2,919	3,000	25.0	2.8	80

風水力冷熱機器等関連（商社事業）計画

- 受注高
 - 都市再開発、オリンピック関連需要等が追い風
 - 既存設備の取り替え・更新需要が継続
- 売上高
 - 期首受注残高増加に伴い売上高も増加

(百万円)	15/12月期	16/12月期 計画		増加率 (%)	増減額
			構成比(%)		
受注高	10,612	11,000	—	3.7	387
売上高	10,163	10,500	100.0	3.3	336
粗利益	1,891	1,900	18.1	0.5	8

粗利益

原価低減等の取り組み継続により前期水準の利益率を維持し、増加

販管費

研究開発費（前期比+1.1億円）及び人件費等の増加を計画

営業利益

若干の減少

外部環境

- ◆ 少子高齢化
- ◆ 財政逼迫
- ◆ 国土強靱化政策
- ◆ 社会資本老朽化
- ◆ 異常気象・災害多発
- ◆ 東京オリンピック開催
- ◆ 省エネ意識の高まり
- ◆ TPP
- ◆ 観光立国推進
- ◆ マイナス金利導入

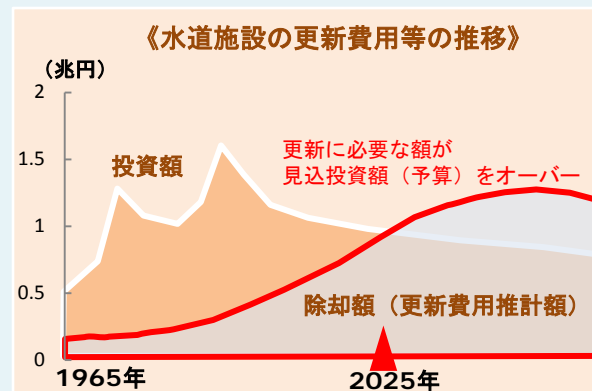
需要動向

上下水道分野

- ◆ 1950年代から急ピッチで整備が進行
- ◆ 老朽化が進み、更新需要が増加
- ◆ 財政問題から効率化や民間活用を推進

<拡大分野>

- 設備更新
- 維持管理
- 運転管理
- 省エネ
- 創エネ
- 効率化



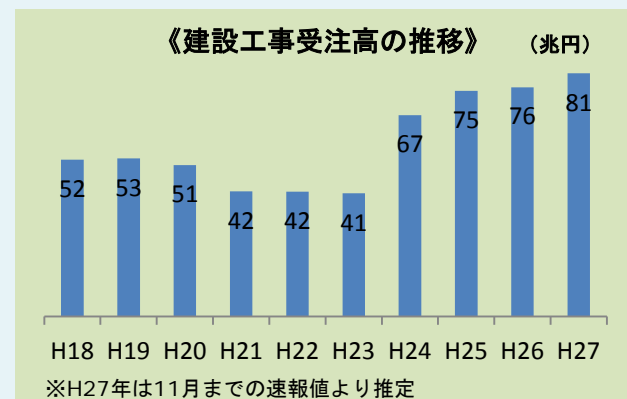
出典：国土交通省「日本の水資源」より当社作成

建築設備分野

- ◆ 建設投資拡大
- ◆ 潤沢な資金により再開発が活発化

<拡大分野>

- 再開発
- 設備更新
- 省エネ
- 創エネ



出典：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」より当社作成

メインテーマ

コアビジネス領域における成長基盤の確立

1 自社製品を核とした収益基盤の拡大(環境関連)

- ◆ 省エネをテーマとした戦略製品の拡販
- ◆ メンテナンス・サービス体制の強化
- ◆ 新製品の開発

2 販売エリアの拡大と営業強化(水処理関連)

- ◆ 西日本エリアでの営業基盤の確保
- ◆ 復興・防災需要の取り込み

3 拡大する建設需要の取り込み(風水力冷熱機器等関連)

- ◆ 再開発・五輪関連需要へのアプローチ
- ◆ 取扱製品の拡充

自社製品を核とした収益基盤の拡大

1. 省エネをテーマとした戦略製品の拡販

省エネブロワ

<製品概要>

- ・ 下水・工場排水処理等で使われる送風機（ブロワ）
- ・ 従来製品より小型・高効率で、30%の省エネが可能



<現状認識と今後の展開>

- ◆ 前期は内製化比率を高めた新型ブロワを積極的にPR
- ◆ 全国的なニーズがある事は確認できたが、公共受注に至るには時間を要する
- ◆ 今期は更新が予定されている処理場へ集中的にアプローチ
- ◆ 内製化比率を高めたブロワの更なる充実強化のため、研究開発費1.1億円を投入

生物脱硫装置

<製品概要>

- ・ バイオガス施設の付帯設備
- ・ 従来比でランニングコスト80%削減



<現状認識と今後の展開>

- ◆ 性能面においては好評価を得ているが、新技術のため、市場浸透には時間を要する
- ◆ 装置の認知度は高まっており、引き合い増加
- ◆ 実証実験によるデータを元に営業を継続

2. メンテナンス・サービス体制の強化

- ◆ 更新・メンテナンス需要の掘り起こしを目的に、複数製品のメンテナンス担当を一つの組織に集約



省エネブロワ



ポエフ脱臭剤



排水処理設備

3. 新製品の開発

- ◆ 医療機器「オゾンガス消毒器」を開発し、今年2月に市場投入
- ◆ 今後も製品開発を継続
 - ・ 食品衛生関連
 - ・ 水処理関連 等



オゾンガス消毒器

販売エリアの拡大と営業強化

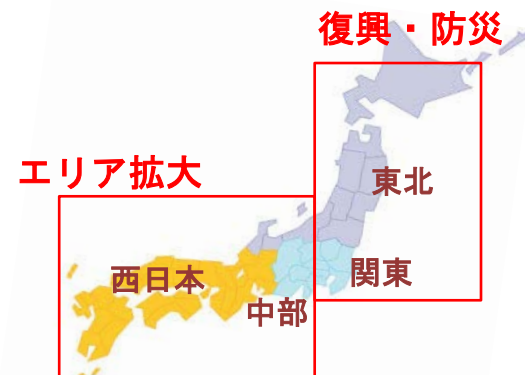
1. 西日本エリアでの営業基盤の確保

<背景>

- ◆ これまでは東日本を中心に営業を展開
- ◆ 更新案件は全国で拡大、継続需要が見込める

<実績・今後の見通し>

- ◆ 公共本部の東西分割、九州への拠点拡大など、西日本エリアの人員配置を強化
- ◆ 地元協力会社の開拓などの取り組みにより、関西や九州地区で更新案件の獲得が増加
- ◆ 今期は中部営業所を中部支社へ昇格し、中部地区の人員配置を強化



2. 復興・防災需要の取り込み

<背景>

- ◆ 宮城、福島等で復興案件が継続
- ◆ 東日本大震災やゲリラ豪雨の多発を受けた防災意識の高まり

<実績・今後の見通し>

- ◆ 復興案件へのアプローチを継続
- ◆ ゲリラ豪雨対策案件で実績、大都市圏で継続する需要確保へ

販売エリアの拡大と営業強化に向けて

- ◆ 製品力の強化
- ◆ 技術者の育成
- ◆ プロジェクト管理の徹底
- ◆ 集中購買の実施

拡大する建設需要の取り込み

1. 再開発・五輪関連需要へのアプローチ

<現状認識と今後の展開>

- ◆ 豊洲新市場など活況な再開発案件へのアプローチ継続
- ◆ 競技施設は今期末～来期以降に本格化
- ◆ 訪日客増加により宿泊施設・観光施設整備も増加傾向



ポンプ



ファン（送風機）

2. 取扱製品の拡充

<現状認識と今後の展開>

- ◆ 新規取扱品の実績は拡大傾向
- ◆ 多様化するニーズに対応し、積極的に扱い品を拡充



冷却塔



ターボ冷凍機

首都圏で今後予定されている再開発

- 2016年 ...豊洲新市場、渋谷宮下町、紀尾井町
- 2017年 ...渋谷駅南街区、西品川1丁目地区、新日比谷プロジェクト
- 2018年 ...丸の内3-2計画、道玄坂街区、大手町2丁目地区
- 2019年 ...春日・後樂園駅前、渋谷駅地区駅街区、四ツ谷駅前



豊洲市場 水産仲卸売場棟 建設工事写真（H27年12月）

東京都 長期ビジョン ※2015年 東京都発表資料より抜粋

2015年

＜東京都の取り組み＞

- **社会インフラ整備**
 - ・ 競技施設、統合型リゾート整備
 - ・ 広域交通インフラの整備
 - ・ 地震、豪雨等 災害への備え
 - ・ バリアフリーの推進
- **新技術の活用**
 - ・ 再生エネ、水素エネの活用
 - ・ 自動運転技術の活用

2020年

史上最高のオリンピック
パラリンピックの実現

課題を解決し、将来にわたる
東京の持続的発展の実現

2024年

「世界一の都市 東京」の実現

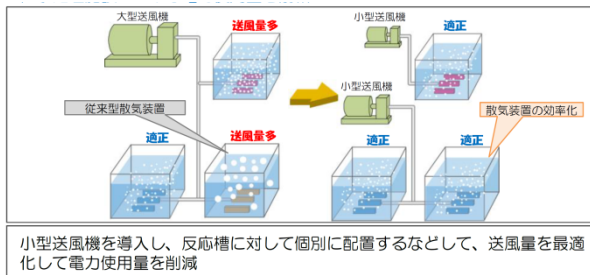
- 世界一の経済都市
- 世界有数の観光都市
- 世界一便利な都市
- 世界一安全・安心な都市
- 持続可能性を備えた都市



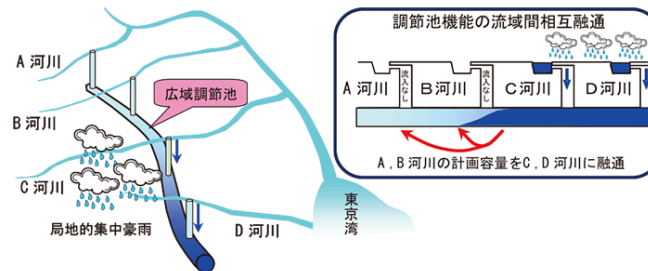
持続的成長・発展

当社のビジネスチャンス

- **老朽施設の更新・耐震化**
 - ・ 上下水道
 - ・ 商業施設
 - ・ マンション ...など
- **省エネ・創エネの推進**
 - ・ ブロワ(送風機)の分散設置
 - ・ 再生可能エネルギーの活用
- **豪雨対策の推進**
 - ・ 雨水貯留管、地下調節池等の整備
- **水辺環境の水質改善**
 - ・ 合流式下水道の改善
 - ・ 高度処理施設等の整備



ばっ気システムの最適化イメージ
(ブロワの分散設置)

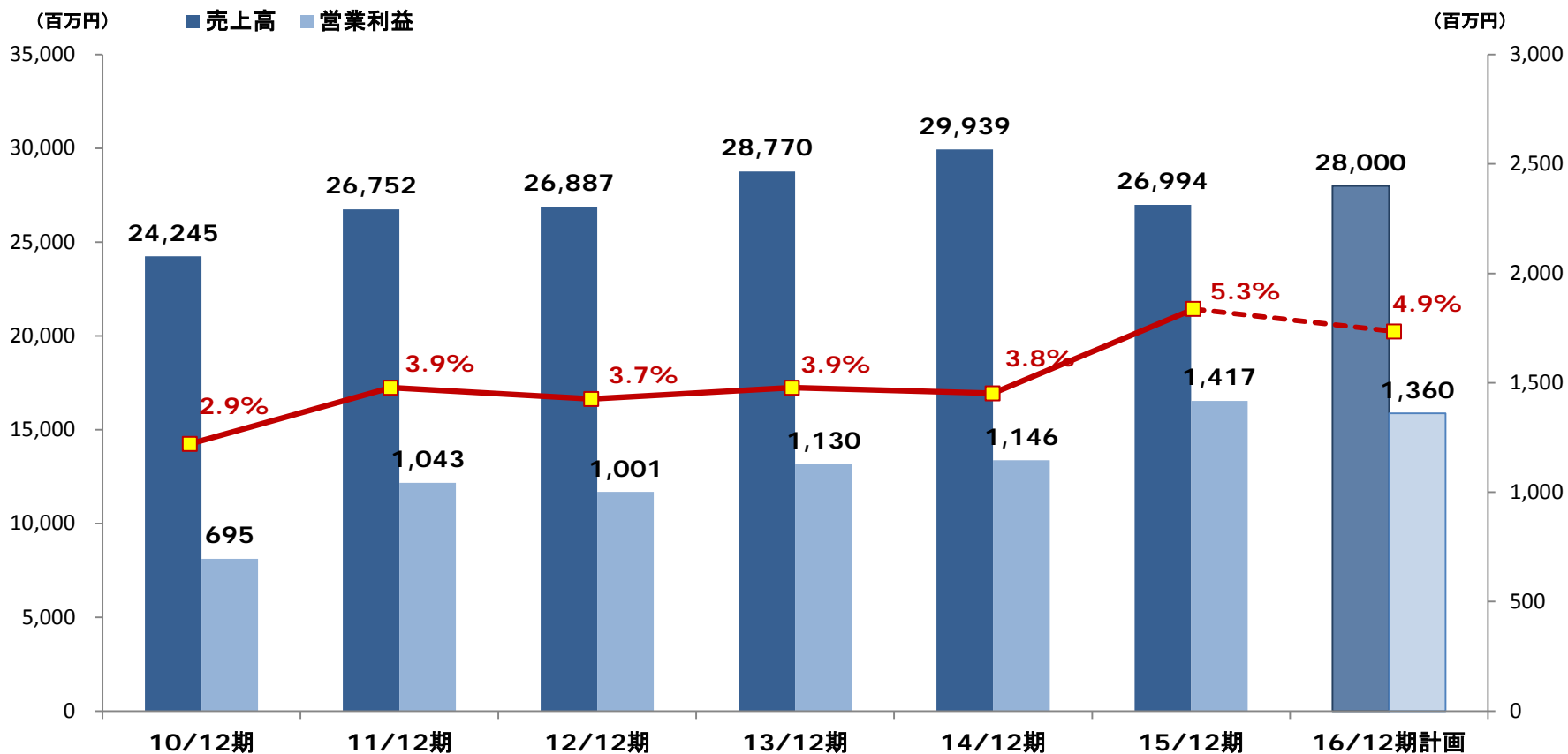


環状七号線地下広域調節池(仮称)イメージ

通期業績推移と目指すべき方向性

目指すべき方向性

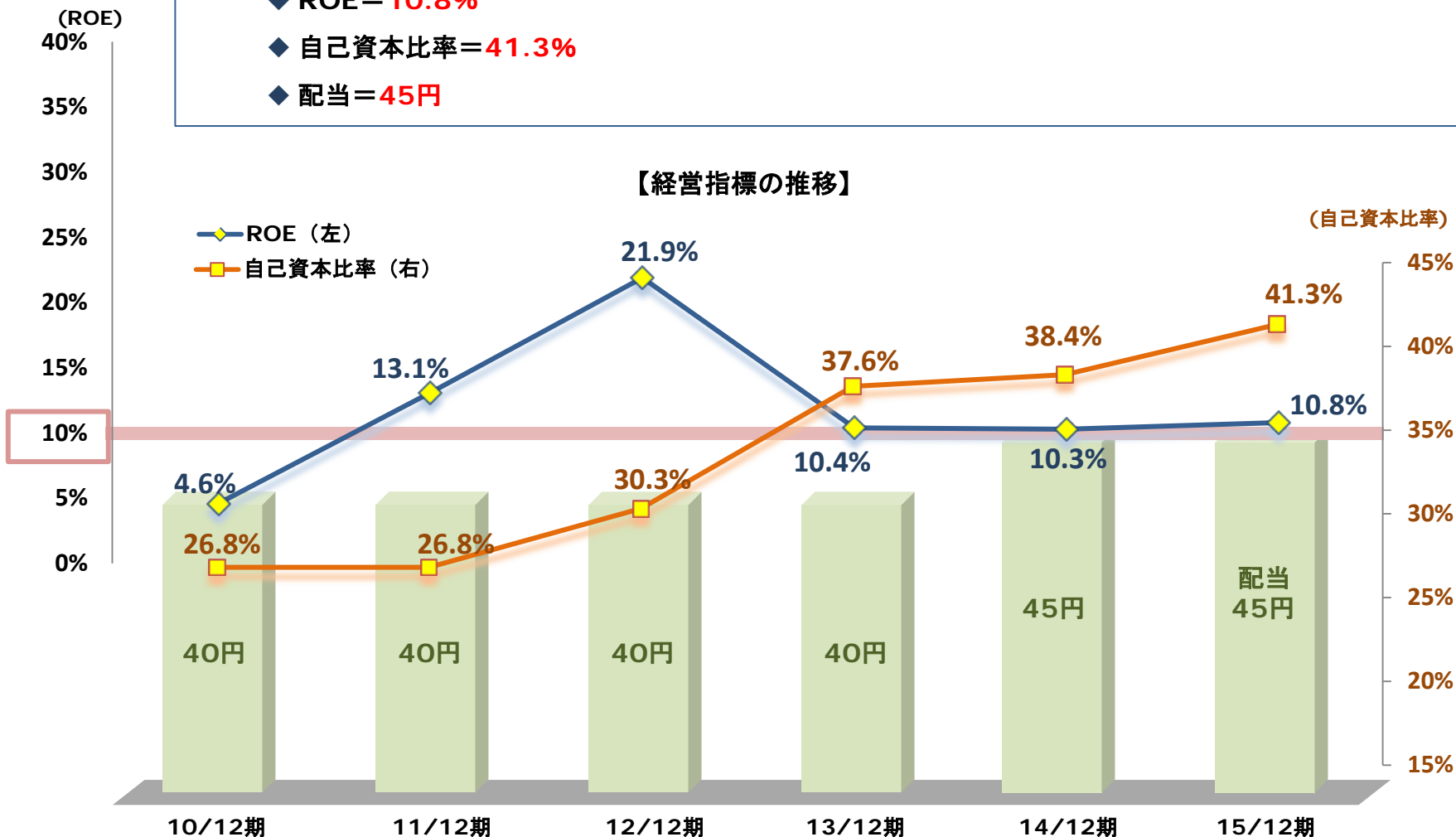
- ◆ 営業利益率=5%以上（15/12月期現在5.3%）
- ◆ 環境関連（メーカー事業）の粗利率構成比率=50%以上（15/12月期現在27.7%）



15/12月期実績

- ◆ ROE = 10.8%
- ◆ 自己資本比率 = 41.3%
- ◆ 配当 = 45円

【経営指標の推移】



<参考資料> セグメント別 業績推移(通期)

(百万円)		第75期		第76期		第77期		第78期	
		13/12月期		14/12月期		15/12月期		16/12月期	
		実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比
受注高	計測	865	△7.3%	883	+2.1%	1,003	+13.6%	1,000	△0.2%
	ボエフ脱臭	1,628	△13.6%	1,702	+4.5%	1,152	△32.3%	1,500	+30.1%
	省エネ・水資源	3,402	+40.0%	1,437	△57.8%	1,371	△4.6%	1,700	+22.8%
	その他	2,137	△46.2%	1,750	△18.1%	1,140	△34.9%	1,300	+13.8%
	環境関連(メーカー)	8,034	△12.9%	5,773	△28.1%	4,668	△19.1%	5,500	+17.5%
	水処理関連(エンジニアリング)	14,345	+48.8%	11,013	△23.2%	12,061	+9.5%	12,000	△0.4%
	風水力冷熱機器等関連(商社)	9,746	△15.8%	10,936	+12.2%	10,612	△3.0%	11,000	+3.7%
	連結合計	32,126	+5.5%	27,723	△13.7%	27,342	△1.4%	28,500	+4.2%
売上高	計測	1,042	+15.5%	858	△17.7%	965	+12.5%	1,000	+3.6%
	ボエフ脱臭	1,768	△6.2%	1,462	△17.3%	1,600	+9.5%	1,700	+6.2%
	省エネ・水資源	2,163	△16.3%	3,015	+39.4%	1,687	△44.0%	1,740	+3.1%
	その他	3,676	+35.2%	1,695	△53.9%	1,223	△27.8%	1,060	△13.3%
	環境関連(メーカー)	8,650	+6.9%	7,032	△18.7%	5,476	△22.1%	5,500	+0.4%
	水処理関連(エンジニアリング)	9,700	+23.0%	12,460	+28.5%	11,355	△8.9%	12,000	+5.7%
	風水力冷熱機器等関連(商社)	10,418	△4.5%	10,446	+0.3%	10,163	△2.7%	10,500	+3.3%
	連結合計	28,770	+7.0%	29,939	+4.1%	26,994	△9.8%	28,000	+3.7%
粗利益	環境関連(メーカー)	2,615	△3.8%	2,170	△17.0%	1,844	△15.0%	1,950	+6.3%
	水処理関連(エンジニアリング)	2,091	+20.9%	2,610	+24.8%	2,919	+11.8%	3,000	+2.6%
	風水力冷熱機器等関連(商社)	1,728	△2.9%	1,728	+0.0%	1,891	+9.4%	1,870	△1.4%
	連結合計	6,435	+3.3%	6,509	+1.2%	6,655	+2.2%	6,820	+2.5%
販管費	5,305	+1.5%	5,362	+1.1%	5,237	△2.3%	5,460	+4.3%	
営業利益	1,130	+12.9%	1,146	+1.4%	1,417	+23.6%	1,360	△4.1%	
営業外収益	243		142		204		160		
営業外費用	159		87		110		70		
経常利益	1,213	+18.1%	1,201	△1.0%	1,511	+25.8%	1,450	△4.0%	
特別利益	173		190		1		-		
特別損失	84		23		1		-		
税引前利益	1,302	+29.0%	1,368	+5.1%	1,511	+10.5%	1,450	△4.1%	
当期利益	722	△38.8%	848	+17.5%	970	+14.4%	930	△4.1%	



社長室 TEL 03-5565-2885

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。